

2018年度(第19期) 事業報告書

【期間：2018年4月1日～2019年3月31日】

目次

I.この1年を振り返って	…P 1
II.事業報告	
1.NPO支援事業	…P 3
2.NPOのための資源仲介事業	…P10
3.調査研究、政策提言事業	…P12
4.東日本被災地支援およびその他の災害支援事業	…P16
III.組織運営	…P18

認定特定非営利活動法人 市民活動センター神戸
(KEC ; Kobe Empowerment Center)

I.この一年を振り返って

2018年度のKECは、前年度に続いてひょうごコミュニティ財団支援や休眠預金関係の政策提言などで大小の成果を挙げました。前者は数年の時間を経て大きな成果が挙がりつつあり、また後者はKEC本来の役割や強みを発揮できたと考えています。同時に、KECが果たすべき役割を巡って、大きな転機も迎えた一年でした。

ひょうごコミュニティ財団の事業の進展

ひょうごコミュニティ財団はこの1、2年の間に寄付や助成プログラムが大きく進展し、離陸へ向けて力強い歩みを見せました。2018年度の助成額は約1400万円、2019年度は2000万円を超えそうです。その多くは地域内外の市民、企業、団体からの意志ある寄付であり、コミュニティ財団が本来目指していた「地域の・民間の・意志のあるお金の循環」が拡大、地域の中で存在感のある助成機関になりつつあります。

この数年間、KECはコミュニティ財団の離陸支援に大きな精力を傾けてきました。2013年6月の財団設立から6年になりますが、地域の市民活動・NPOの成長を支える重要な基盤的組織として定着するまでもう一步です。KECとしても大きな成果が挙がりつつあると考えています。財政的にもほぼ自立できる状態になってきましたが、その離陸をより確実にし相乗効果も発揮するために、KECとコミュニティ財団の経営統合の議論も始まっています。(→事業2-(1))

休眠預金等に関する議論と政策提言

今年も昨年に続いて、「休眠預金」を中心とする政策提言、情報発信に力を入れました。

制度としては、2019年1月に「指定活用団体」が決まり、4月には次の段階である「資金分配団体」の募集も始まるなど、制度としての骨格が固まってきた。私たちは、市民活動・NPOにとってあまり良くない制度が実現しつつあると考えており、その面では十分な成果は挙げられなかったと言わざるを得ません。

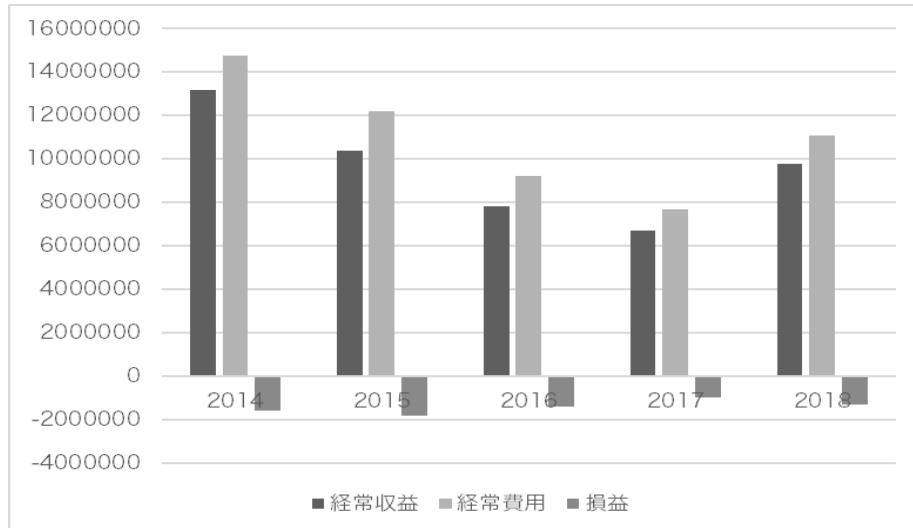
ただ、この間の政策提言は単に休眠預金制度のあり方・制度論だけの議論ではなく、市民活動・NPOのそもそもの存在意義や今後の発展の方向性に関する議論でした。兵庫や全国の人々との議論の中から、そういう根本的なテーマについて共有の知を紡ぎ出しつつあると考えており、この2年間の議論の蓄積は今後に生きてくると考えています。そういう議論の場づくりやネットワーク形成、そして情報発信において、KECらしい役割が果たせたと考えています。こういった活動がKEC本来の強みであり役割であることも、改めて再認識しました。機関誌「みみずく」もこのテーマの特集号で5年振りに発行しました。(→事業3-(1)、(2))

体制、財政など

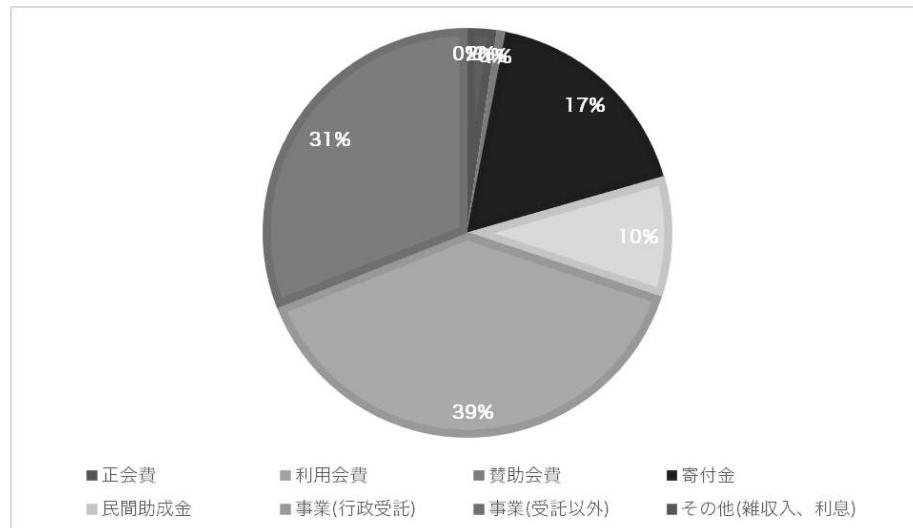
2018年度は4月から常勤職員を採用し、相談や研修事業などを安定して実施することができました。他方、財政的には約137万円の赤字で、予算(86万円の赤字)を大きく上回る赤字を出してしまいました。ここしばらくは蓄積した正味財産を活動に投入する時期であり、ある程度は必要な投資だったと考えていますが、もう少し支援者への報告やお願いを丁寧にすべきだったと反省しています。ご寄付のお願い(2018年末)や機関紙発行の再開もあり、年度末からまた会員として応援してくださる方が増えつつあり、今後も情報発信とコミュニケーションに力を入れていきたいと思います。

<グラフ>

1. 損益の経年変化



2. 2018年度・収益の内訳



II.事業報告

1.NPO 支援事業

引き続き認定 NPO 法人の申請・取得支援事業を行いましたが、常勤職員の採用により、一般的な相談業務も再開しました。

(1)認定 NPO 法人相談窓口事業は継続受託 7 年目を迎え、(2)相談・セミナー事業ではこれまで行ってきた日々の相談対応を「NPO 相談窓口」として料金体系・受付方法とも整備し、体制を充実させ支援を行ったほか、外部団体が運営するセミナーの受託等を通じ県内団体へ法人運営の基礎知識等を発信しました。(2)-⑥NPO 学び支援事業では、休眠預金等活用法の施行および同制度が本格的に動き始めることへ伴い同法や制度に関する講師派遣依頼や問い合わせが大幅に増加しました。

(1)認定 NPO 法人相談窓口事業(受託) 担当：実吉、諏訪、大島、北内

神戸市からの受託により実施。窓口開設及び出張相談では、認定 NPO 法人制度の基礎知識や具体的な申請手順、認定取得後の義務、所轄庁の監督について説明し、団体の状況に応じたアドバイスを行った。説明会では認定 NPO 法人制度の概要・要件について及び認定取得・更新に向けた組織運営の実務についての説明会を企画し、開催した。

①認定 NPO 法人制度及び認定取得・更新のための組織運営(会計含む)に関する相談窓口

14 団体計 27 回(新規 3 団体、継続 11 団体)

②認定取得・更新のための組織運営(会計含む)に関する出張相談

4 団体計 9 回(新規 0 団体、継続 4 団体)

③認定 NPO 法人制度及び認定取得・更新のための組織運営(会計含む)に関する説明会の企画・開【実務(会計)講座】

講座名：「しっかりわかる！！NPO 法人会計レベルアップ講座」

講師(全回共通)：NPO 会計支援センター 村上義弘さん

<夏季>

回	実施日/会場	参加者数	内容
---	--------	------	----

1	実施日：2018年6月27日(水) 会 場：神戸市勤労会館	37名	正しい会計と仕訳の基礎
2	実施日：2018年7月4日(水) 会 場：神戸市勤労会館	33名	現金出納帳から月次の決算へ
3	実施日：2018年7月11日(水) 会 場：神戸市勤労会館	31名	決算書の作り方

開催概要・報告：https://kobekec.net/2018npokaikei_summer/

<冬季>

回	実施日/会場	参加者数	内容
1	実施日：2018年11月15日(木) 会 場：神戸市勤労会館	18名	正しい会計と仕訳の基礎
2	実施日：2018年11月22日(木) 会 場：神戸市勤労会館	18名	現金出納帳から月次の決算へ
3	実施日：2018年11月29日(木) 会 場：神戸市勤労会館	17名	決算書の作り方

開催概要・報告：https://kobekec.net/2018npokaikei_winter/

【認定 NPO 法人向け講座】

講座名：「神戸市内認定 NPO 法人情報交換会」

話題提供：実吉(認定 NPO 役立情報)、神戸市市民参画推進局市民協働課(認定更新手続き)

回	実施日/会場	参加者数	内容
1	実施日：2018年8月21日(水) 会 場：神戸市勤労会館	11名	認定を活かすためのグループワーク、更新手続き解説等

開催概要・報告：<https://www.facebook.com/kobekec/posts/2046238578728269>

【一般向けファンドレイジング講座】

講座名：「NPO 法人のための『実践を通じて学ぶ！資金調達(ファンドレイジング)講座』」

講師 1～3：office musubime 代表 河合将生さん、4：実吉

回	実施日/会場	参加者数	内容
1	実施日：2019年2月8日(金) 会 場：こうべまちづくり会館	16名	ファンドレイジング基礎
2	実施日：2019年2月15日(金) 会 場：こうべまちづくり会館	11名	実践Ⅰ
3	実施日：2019年2月22日(金)	8名	実践Ⅱ

	会 場：こうべまちづくり会館		
4	実施日：2019年3月1日(金) 会 場：こうべまちづくり会館	11名	助成金申請の基礎

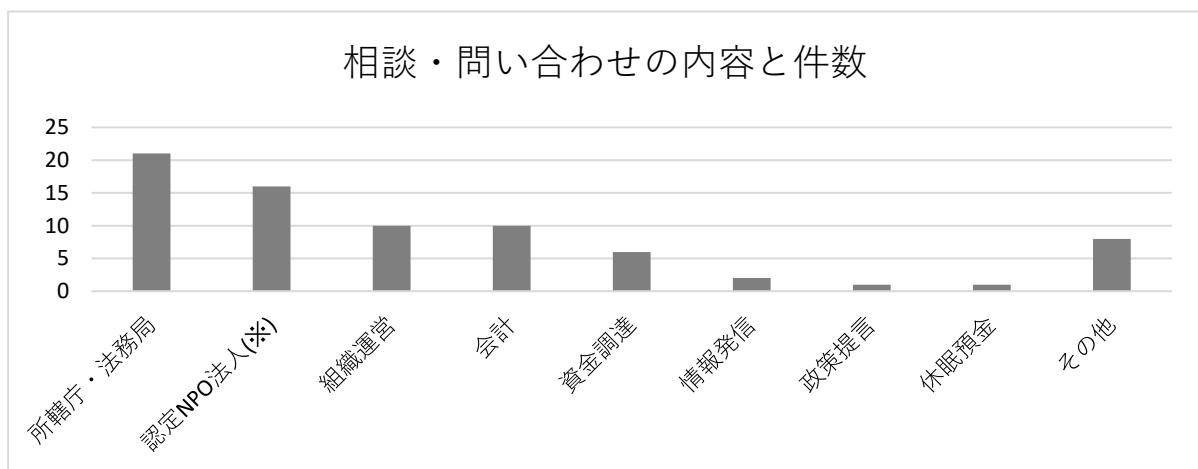
開催概要・報告：https://kobekec.net/news/1902-03npofundraising_kobe/

(2)相談・セミナー事業(助成・受託・自主) 担当：実吉、北内

電話・メール・問い合わせフォームからの相談を受け付け、当会事務所へお越しいただいた面相談のほか、講師派遣や交流会、セミナー開催等の機会を通じ支援を行った。

①【再開】窓口相談

組織運営、資金調達、会計等多様な相談や問い合わせに応じた(延べ70件)。ひょうごボランタリーアイデア基金(中間支援活動)の一部助成により実施。



1回に複数の内容について相談を受ける場合があるため、合計は70にならない。

※認定NPO法人に関する相談は神戸市外から寄せられたもの。神戸市内に主たる事務所を置くNPO法人等からの相談については1-(1)にて受け付けた。

②【新規】交流会

ひょうごボランタリーアイデア基金(中間支援活動)助成および(株)大塚商会、(認定特活)イーパーツからの資源提供(事務用品)を受け実施。地域や活動が異なるNPO同士の交流機会とした。2-(2)に関連事項掲載。

回	実施日/会場	参加者数	企画名
1	実施日：2019年1月30日(水)	21名	NPO新年会&事務用品配分

会 場：秋毎ビル 2 階会議室		
-----------------	--	--

開催概要・報告：<https://kobekec.net/news/190130kecnewyearsParty/>

③【新規】書類作成支援

主に助成金申請書類の作成等に対するアドバイスを行った(3団体9件)。ひょうごボランタリーフィンディング(中間支援活動)の一部助成により実施。

④【新規】支援事例の出し合い会、伴走支援の事例検討会

NPOへの支援に関心を持つ専門家やNPO支援機関のスタッフ等との情報交換、意見交換を行った。ひょうごボランタリーフィンディング(中間支援活動)の一部助成により実施。

回	実施日/会場	参加者数	企画名
1	実施日：2018年12月7日(金) 会 場：神戸市勤労会館	11名	税理士・公認会計士の方向けの 「NPO会計サポーター入門講座」 主催：NPO会計支援センター、当会
2	実施日：2019年1月16日(水) 会 場：当会事務所	6名	「伴走支援」研究会①
3	実施日：2019年3月27日(水) 会 場：当会事務所	4名	「伴走支援」研究会②

開催概要：https://kobekec.net/news/181207npokaikei_supporter/

⑤【新規】セミナー

【丹波市市民活動中間支援人材育成業務】

株式会社地域計画建築研究所(アルパック)大阪事務所より受託実施。丹波市内へ新設される中間支援拠点で支援業務を担う人材の育成を目的とした以下の講座にて講師を担当したほか、受講生やプログラムへのアドバイス等の協力、講座記録等事務作業支援を担当。

<講座担当>

- ・11月6日(火)3講 「市民活動概論」 / 実吉
- ・11月6日(火)4講 「まちづくりや市政への多様な参加・参画のデザイン」 / 実吉
- ・11月24日(土)9講 「中間支援とは何か。今、丹波市に求められる中間支援とは」 / 北内
- ・12月13日(木)12講 「丹波市内の中間支援機能に求められる事業の企画立案①」 / 実吉
- ・1月25日(金)23講 「市民公益活動に関わる団体設立・法人設立・運営の基礎」 / 北内
- ・1月25日(金)24講 「市民公益活動に関わる法人運営の基礎(会計・税務・労務)」 / 北内
- ・2月25日(月)30講 「演習：インターンシップ研修振り返り」 / 実吉
- ・2月25日(月)31講 「丹波市内の中間支援機能に求められる事業の企画立案②」 / 実吉

⑥【継続】NPO学び支援

【個別団体向け出張セミナー】：1回

市内に拠点を置くNPO法人からの依頼により役職員向けセミナーを企画・運営した。

[日程]2018年8月6日(月)

[内容] 講義「NPO法人事務局向け基礎セミナー」 / 実吉

【講師派遣】：7回

依頼を受けた下記講座等に対し役職員の派遣を行った。

・[派遣先]現場視点で休眠預金を考える会 実行委員会

[日 程]2018年7月26日(木)

[内 容]緊急集会「みんなの休眠預金をどうするのか！指定活用団体決定前の今こそ語り合おう！」第二部コーディネーター / 実吉

・[派遣先](認定特活)イーパーツ

[日 程]2018年8月6日(月)

[内 容]「AIさん、これできる？～市民活動団体の立場から」講演 / 実吉

・[派遣先] 兵庫県農政環境部農林水産局豊かな森づくり課

[日 程]2018年11月18日(日)

[内 容]平成30年度森林ボランティア講座「ボランティア団体運営の基礎」講師 / 北内

・[派遣先] (公財)かわさき市民活動センター

[日 程] 2018年11月21日(水)

[内 容]「中間支援団体として知っておきたい休眠預金等活用法のこと」講師 / 実吉

・[派遣先](認定特活)日本NPOセンター

[日 程] 2018年11月22日(木)

[内 容]市民セクター全国会議2018「分科会4[基盤]休眠預金等の活用は社会課題の解決につながるか？」コーディネーター/ 実吉

・[派遣先](認定特活)わかやまNPOセンター

[日 程]2019年3月23日(土)

[内 容]「緊急開催！休眠預金活用制度は地域に何をもたらすか」講師 / 実吉

・[派遣先](特活) きょうとNPOセンター

[日 程] 2019年3月13日(水)

[内 容]「休眠預金がやってくる～NPOが知っておきたい休眠預金のこと＆支援を受けるための組織体質改善にむけて～」講師 / 実吉

(3)神戸元町 NPO ポート事業(自主) 担当：本田

成長期団体へ設備等を提供し、本来活動へ専念することができるよう支援を行った。

提供内容	入居団体
1室(3F西側部屋)	兵庫県学童保育連絡協議会・神戸市学童保育連絡会
デスク、PC、事務機器	(公財)ひょうごコミュニティ財団
シェアデスク	利用なし

(4)その他の NPO 支援事業(自主、受託、共催、協力) 担当：実吉、北内

15年間継続した①平成30年度NPO・地域支援アドバイザー派遣事業は最終年度を迎えた。過去数年間はアドバイザーへのスーパーバイズ的関与を中心としていたが、今年度は個別団体へのアドバイスについても担当した。②および③については昨年度と同様に各ネットワークの活動及び運営へ参画し、新たな支援先や協働先の開拓にも努めた。

①【継続】平成30年度NPO・地域支援アドバイザー派遣事業

神戸市の委託により(特活)神戸まちづくり研究所が実施する同事業においてアドバイザー登録。個別団体への派遣等によるアドバイスを実施した。本年度をもってNPO向け事業は終了した。
(まちづくり協議会への会計支援が継続)

【個別団体へのアドバイス】

- ・会計等：1回(6月7日) / 実吉
- ・情報発信等：4回(6月25日、7月16日、7月30日、8月13日) / 北内

【会議及び報告会への参加】

- ・事業説明会と団体交流会：2018年6月17日(日)
- ・中間報告：2018年12月9日(日)
- ・最終報告：2019年3月21日(木・祝)
- ・ミーティング：2018年5月16日(水)、7月20日(金)、9月21日(金)、12月3日(月)、2019年3月4日(月)

②【継続】ひょうご市民活動協議会(ひょうごん)

運営委員として運営及び各種事業へ参画。3-(3)へ関連事項記載。 / 実吉

開催概要・報告：<https://hyogon.net/>

③【継続】ひょうごん福祉ネット

加盟団体として運営及び各種事業へ参画。/ 実吉

開催概要・報告：<https://hyogon.wixsite.com/fukushi-net>

2. NPO のための資源仲介事業

「公益財団法人ひょうごコミュニティ財団」は設立(2013年6月)から6年目を迎え、この1、2年は寄付や助成プログラムも大きく進展し、財政的にも自立が近付くなど、離陸へ向け大きく前進しました。遺贈による新たな基金(助成プログラム)も始まり、コミュニティ財団の本義である地域の・民間の・意志のあるお金の循環が拡大し、徐々に地域社会において存在感のある助成機関となりつつあります。

KECとしては、ここ数年の最優先事業であったコミュニティ財団の立ち上げが軌道に乗りつつあり、大きな成果が挙がったと考えています。年度末から、KECとコミュニティ財団の経営統合の議論も始まりました。

(2)資源仲介事業は企業からの現物寄付等を活かし、ネットワークづくりへ取り組みました。

(1)ひょうごコミュニティ財団支援事業(自主) 担当：実吉、北内、本田

1-(3)神戸元町NPOポート事業と併せ、財団の日常業務に対する支援を行った。

- ・基金運営、ファンドレイジング、伴走支援等(通年) / 実吉
- ・広報物作成、ウェブサイト更新、会議等補助、庶務(都度) / 北内
- ・会計、庶務(通年) / 本田

【ひょうごコミュニティ財団の2018年度の主な事業】

○有園博子基金(新規)

2017年末に逝去された故有園博子さん(兵庫教育大学教授；当時)のご遺贈(約1億円)による被害者支援のための基金。初年度は公募により9団体に計423万円を助成。資金助成に加えて同分野での支援団体のネットワークづくりや人材育成も応援。6～8年間の継続的な基金となる。

○輝け加古川みらい基金(リニューアル・継続)

2015年に始まったこの基金は、予定の当初3年間を終え、第4～6期目の第2クールに入った。分野を「男女共同参画」に拡大し伴走支援の仕組みも用意するなど、リニューアルを行い第4期の公募助成を行った。17団体(基本コース11団体、発展コース6団体)に計272万円を助成。

○真如苑・ひょうご子ども応援基金(継続)

「子どもの貧困」への対策をテーマとする本基金は第3期の公募助成を実施、3団体に計100

万円を助成した。第4期以降は第2クールとして、テーマや規模などの見直しをする予定。

○寄付つき商品(新規)

3社のご協力を得て、各社が販売する商品を「寄付つき」としていただき、その売上的一部分をご寄付いただいた。「ASAHI・MITSUHASHI基金」など、小規模ながらNPOを支援する助成プログラムが実現できた。

(詳細)<https://hyogo.communityfund.jp/>

(2) その他の資源仲介事業(自主、助成) 担当: 実吉、北内、本田

情報発信支援のほか、新規に企業からの提供商品の仲介を行った。

① 【継続】「サンケイリビング」紙でのNPO等情報発信

実施期間: 2018年4月～2019年3月掲載分/月1回の情報募集及び紹介

サンケイリビング新聞社が発行する地域情報誌「サンケイリビング新聞(神戸東版・神戸明石版)」の誌面へ掲載を希望する記事を兵庫県内NPO等よりメールにて募集し、同社神戸市上部担当者への仲介を行った。同社には数年間の長きにわたり情報発信の機会を提供いただいたが、誌面の都合及び発行回数の減少により掲載機会が減少し、2019年3月をもって仲介を終了することとなった。同社担当と協議のうえ、県内NPOに対しては今後個別団体から直接同社へ情報提供を行っていただくよう案内を行った。

② 【継続】明治ホールディングス社による菓子のご寄贈

今年度は実施しなかった。

③ 【新規】(株)大塚商会 オフィス用品の寄贈活動「たのくんからの贈り物」

(認定特活)イーパーツより紹介を受け、1-(2)交流会として寄贈品の配分を行った。

3.調査研究、政策提言事業

この1年は、昨年度に続き「休眠預金等活用法」(2016年末成立)に対する政策提言活動に力を入れました。制度としては、市民活動・NPOにとってあまり良くない制度が実現しつつあり、十分な成果は挙げられませんでした。

ただ、この運動の過程で市民活動の本来の価値は何なのか、それを伸ばすためには何が大事で、それを壊すのはどういう仕組みかといった根本的なことについて、地域の皆さん、全国の皆さんと多くの議論を積み重ねられたことは今後に向けて大きな資産になったと感じています。休眠預金だけにとどまらず、これから市民活動の方全般について、兵庫・全国の仲間とともに、議論を巻き起こす一端は担えたかと考えています。機関誌「みみずく」(事業3-(2))もこのテーマの特集号で5年振りに発行しました。

兵庫と、関西・全国のネットワークの両方において議論の場の提供や論点整理を行い、また自ら問題提起をするといったアドボカシー(政策提言)活動を活発に行いましたが、この領域がKEC本来の強みであり役割であることを再認識した年でもありました。

「休眠預金」については、諦めることなく引き続き提言活動を続けていきます。

(1)NPOやまちづくりに関する調査、政策提言(自主、助成) 担当: 実吉、諏訪、北内

①休眠預金等活用法への政策提言は組織の柱ともいえる活動として、助成金のほか多くの方からご寄付などの支援を受けつつ展開した。

①【継続】休眠預金等活用法への政策提言

休眠預金制度を具体化する審議会の審議が進み、2018年は同年3月末に策定された「基本方針」を受けて、事業者(指定活用団体)の選定へ向けて大きく制度が動いた1年だった。どんな団体がどのような方針、事業プランで指定活用団体に申請するか、また採択されるかがこの制度を大きく左右すると考え、積極的な提言活動を行った。

7月、「基本方針」の策定プロセスや内容に抗議し問題提起するための緊急フォーラムを実行委員会形式で開催、そこに参画した。8月以降は、全国ネットワークの中で有志による「現場視点で休眠預金を考える会」に実吉事務局長が参加し、内閣府や指定活用団体候補、および指定活用団体に指定された「日本民間公益活動連携機構(JANPIA)」に対する提言活動を行った。

県内では、NPO向けの説明会の開催、NPOからの意見募集及び意見交換を行った。また、機関誌「みみずく」において本制度の内容や問題点を発信した(→3-(2)事業)。

ひょうごボランタリー基金(中間支援活動)の一部助成により実施。

【休眠預金に関する学習会】

回	実施日/会場	参加者数	企画名
1	実施日：2018年6月22日(金) 会 場：こうべまちづくり会館	25名	中間支援向け休眠預金学習会

開催概要・報告：<https://www.facebook.com/kobekec/photos/1959138610771600>

回	実施日/会場	企画名
1	実施日：2018年7月26日(木) 会 場：文京シビックセンター	みんなの休眠預金をどうするのか！ 指定活用団体決定前の今こそ語り合おう！ 主催：現場視点で休眠預金を考える会 実行委員会(当会からは実吉が構成メンバーとして参画)

開催概要・報告：<https://www.jnpoc.ne.jp/?p=15922>

回	実施日/会場/講師	参加者数	企画名
1	実施日：2018年10月15日 会 場：神戸 YMCA 三宮会館 講 師：津富 宏さん(静岡県立大学教 授、(特活)青少年就労支援ネットワーク静岡 理事長)	22名	【休眠預金学習会 Part2】NPO を測る・測られる？～NPO の「評価」を根本から考えてみる学習会～

開催概要：https://kobekec.net/news/181015npo_hyoka/

回	実施日/会場/講師	参加者数	企画名
1	実施日：2018年11月1日(木) 会 場：新大阪丸ビル 講 師：津富 宏さん(静岡県立大学教 授、(特活)青少年就労支援ネットワーク静岡 理事長)	74名	NPO が「測られる」時代が来る！？～NPO の評価とコモンズと休眠預金を考える～ 主催：NPO の評価とコモンズと休眠預金を考える会 in 関西(事務局：当会)

開催概要：https://kobekec.net/news/181101npo_hyoka_kansai/

回	実施日/会場	参加者数	企画名
1	実施日：2019年1月9日(水) 会 場：神戸市勤労会館	25名	休眠預金がやってくる

開催概要・報告：https://kobekec.net/news/190109kyuminyokin_hyogo/

回	実施日/会場/講師	参加者数	企画名
1	実施日：2019年3月30日(土) 会 場：神戸市勤労会館 講 師：津富 宏さん(静岡県立大学教 授、(特活)青少年就労支援ネットワーク静岡 理事長) 西郷 民紗さん (株)HITOTOWA、Early Intervention 勉強会) 家子 直幸さん(三菱 UFJ リサ ーチ&コンサルティング(株))	25名	エビデンスを「つかう」を学ぶ 入門 ワークショップ

開催概要・報告：https://kobekec.net/news/190330evidenceworkshop_kec/

【休眠預金に関する意見交換会】

回	実施日/会場	参加者数	企画名
1	実施日：2019年2月26日(火) 会 場：秋毎ビル2階会議室	7名	市民活動の評価と休眠預金制度に関する意見交換会①
2	実施日：2019年2月26日(火) 会 場：秋毎ビル2階会議室	6名	市民活動の評価と休眠預金制度に関する意見交換会②

開催概要・報告：<https://kobekec.net/news/190226-0329npomeeting/>

【記者懇談会】

回	実施日/会場	内容
1	実施日：2018年11月19日(火) 会 場：当会事務所	休眠預金に関する概要共有

②【継続】「ひょうご中間支援ネットワーク」および「手引き改訂プロジェクトチーム」への参
兵庫県・神戸市が発行する「NPO法人の手引 2 認定NPO法人編」改定に関するプロジェ
クト会議へ参加した。2019年3月付にて改訂版が発行され、ウェブサイトへ公開された。

[会議日]2018年6月7日(木)、7月12日(木)、9月11日(火)、10月25日(木)、11月21日
(水)、12月11日(金)、2019年2月6日(水)、2月19日(火)、3月5日(火)

(神戸市)<http://www.city.kobe.lg.jp/ward/activate/support/npo/nintei/ninteitebiki.html>

(2)機関誌「みみずく」発行事業(自主、助成) 担当：実吉

2019年3月31日付にて臨時号「休眠預金特集」を発行。会員、寄付者、および兵庫県内全NPO法人宛てに情報提供を行った。ひょうごボランタリー基金(中間支援活動)の一部助成により発行。

(バックナンバーURL)：https://kobekec.net/organ_mimizuku/



(3)役員就任、審議会、研究会、ネットワーク等(自主) 担当：実吉

団体、個人として以下の団体、ネットワークの役員・会員、および審議会等のメンバーとなつた。

【団体】

- ・ひょうご市民活動協議会(会員)
- ・ひょうご中間支援ネットワーク(全体会および手引きプロジェクトチームメンバー)
- ・日本NPOセンター(会員)
- ・市民ファンド推進連絡会(世話団体)
- ・NPO法人会計基準協議会(世話団体)
- ・NPO会計税務専門家ネットワーク(会員)

【個人】

- ・ひょうご市民活動協議会 運営委員(実吉)
- ・ひょうご中間支援ネットワーク／手引きプロジェクトチームメンバー(諏訪、実吉)
- ・神戸市・すまい審議会 委員(実吉)
- ・神戸市・居住支援協議会 会員(実吉)
- ・神戸市・中間支援 NPOと行政の意見交換会 メンバー(実吉)
- ・日本NPOセンター・支援センターCEO会議／休眠預金タスクチームメンバー(実吉)
- ・NPO広報力向上委員会 委員(実吉)
- ・現場視点で休眠預金を考える会 実行委員会(実吉)
- ・災害救援ボランティア活動支援団体連絡協議会 委員(実吉)

4. 東日本被災地支援およびその他の災害支援事業

引き続き福島県を重点支援先として、兵庫への避難者支援などを実施しました。今年度は「避難サポートひょうご」の活動(事務局)が主となりました。

兵庫県内に対しては、近年多発する自然災害への備えと復興支援活動に対し「阪神・淡路大震災の被災からの学び」を継承し、伝え、備えるための発信等を行いました。

(1) 東日本大震災の被災地支援(自主) 担当：実吉

① 被災地 NPO 応援基金Ⅰ・Ⅱ

今年度は基金Ⅰへ5万円、基金Ⅱへ5万円(計10万円)のご寄付をお預かりした。基金Ⅱへのご寄付については当会が事務局を担う「避難サポートひょうご」の活動へ充当した。

基金Ⅰへのご寄付については昨年度からお預かりしている5万円とあわせ、次年度に福島のNPOへの助成として活用する。

(2) 東日本大震災・福島第一原発事故による広域避難者支援(自主) 担当：実吉

① 避難サポートひょうご

東日本大震災・福島第一原発事故により兵庫県内に避難している方々を支援する緩やかなネットワークとして発足した「避難サポートひょうご」の事務局を、兵庫県社会福祉協議会とともに2012年より継続して担っている。このネットワークは3月末現在、50の当事者団体・支援者団体と個人支援者とで構成されており、震災から8年を経た2019年3月現在もそれぞれが支援活動を続けている。避難サポートひょうごとしては個々の活動ではできない場づくり、情報発信や提言活動などを中心に活動している。

【情報発信】

- ・パンフレットの改訂・発行

今年度は改訂せず。

- ・ホームページ、Facebookページの運営

ホームページでは本ネットワークの基礎的な情報の更新を、Facebookで各支援団体のイベント情報などタイムリーな情報の発信を行っている。

【避難者交流会の開催】

昨年に続き、避難者・支援者の交流会を開催した。

回	実施日/会場	企画名
1	実施日：2019年2月2日(土) 会 場：木口記念会館	第4回避難者交流会 「わいわい交流会」

開催概要：<https://www.hinanhyogo.com/>

【会合等】

- ・2018年4月17日(火) 世話人会
- ・2018年6月11日(月) 全体会
- ・2018年7月5日(木) 世話人会
- ・2018年8月30日(木) 世話人会
- ・2018年12月18日(火) 世話人会
- ・2019年2月2日(土) 避難者交流会 in ひょうご

(3) その他の災害支援事業(自主) 担当：実吉、北内

委員として参画している各協議会等に対し過去数年間欠席が続いていたが、近年の災害増加に対し支援を担うNPOへの対応を強化する視点からも積極的に参加した。

①災害救援ボランティア活動支援団体連絡協議会

以下の訓練及び企画会議へ参画。

- ・2018年8月7日(火)
平成30年度災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議(実吉：北内代理参加)
- ・2018年9月28日(金)
第1回大規模災害を想定した災害ボランティア連携訓練(北内)
- ・2019年1月29日(火)
災害ボランティア連携訓練ワーキンググループ・プログラム企画会議(北内)
- ・2019年3月13日(水)
平成30年度第1回災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議企画部会兼第6回訓練に係るワーキンググループ(北内)

III.組織運営

1.会議

特定非営利活動促進法第14条及び当会定款第16~34条に基づき、以下の会議を開催した。

(1)2018年度通常総会

日 時：2018年6月16日(土)14:00～16:00

場 所：秋毎ビル2階会議室

出席者：出席正会員46名(うち書面表決または表決委任者36名) (正会員総数67名)

審議事項：第1号議案 2017年度事業報告案承認の件(全会一致で承認)

第2号議案 2017年度決算案承認の件(全会一致で承認)

協議事項：2018年度事業計画および予算について

開催報告：<https://www.facebook.com/kobekec/photos/1934786569873471/>

(2)理事会

	開催日	審議事項	出席者
第78回	2018年5月28日(月) 18:00-20:00	第1号議案 2018年度総会提出議案承認の件 第2号議案・第3号議案 2018年度予算案および事業計画案承認の件	理事8名(うち表決委任3名)、監事1名
第79回	2018年10月22日(月) 18:00-20:00	第1号議案 2018年度予算修正案承認の件	理事8名(うち表決委任3名)、監事1名

2.会員

	2014 年度末	2015 年度末	2016 年度末	2017 年度末	2018 年度末
正会員	70	67	66	67	67
賛助/個人	14	1	1	0	10
賛助/団体	4	2	1	0	5
利用/個人	0	0	0	0	0
利用/団体	0	1	0	0	0
計	88	70	68	67	82
(内、正会員以外)	18	3	2	0	15

3.役員

(理事 8 名、監事 2 名)

理事 中田豊一(理事長)

理事 森田博一(副理事長)

理事 磯辺(東方)康子

理事 長原英文

理事 実吉威

理事 諏訪晃一

理事 早瀬昇

理事 山下淳

監事 土肥直紀

監事 宮崎洋彰

任期：2017 年 6 月 3 日～2019 年度通常総会終了時

4.事務局

・事務局職員

	市民活動センター神戸	ひょうごコミュニティ財団兼務
常 勤	北内 はるか	実吉 威(事務局長)
非常勤	大島 一晃	山崎 ゆり 本田 直子

・事務局ボランティア

星野 修平 (敬称略)

1996 年以来 23 年の長きにわたって会計担当のスタッフを務め続けてくださった山崎ゆりさんが、2019 年 2 月をもって退職されました。永年のご貢献に心から感謝申し上げます。

(以上)